

経営比較分析表（令和3年度決算）

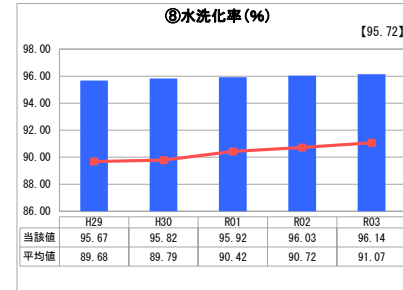
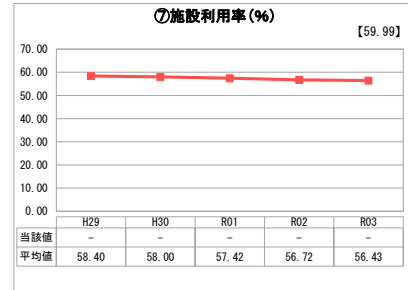
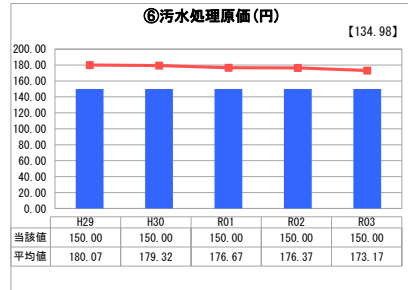
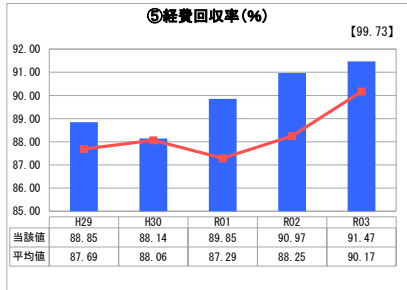
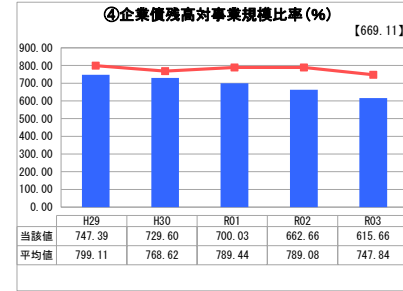
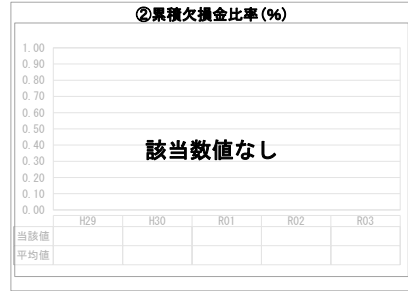
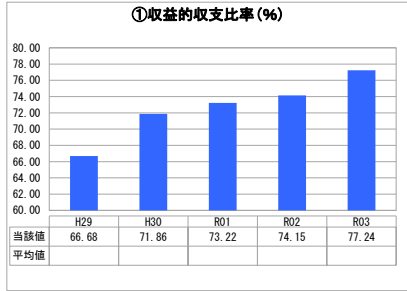
奈良県 河合町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	82.96	88.00	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,277	8.23	2,099.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,262	3.16	4,513.29

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

昭和55年度から下水道事業に着手し、整備が完了した地域から随時使用を開始しています。令和3年3月末現在では、本町人口の99.1%(17,053人)の方が下水道を使用でき、その内93.6%(15,966人)の方に利用して頂いています。

収益的収支比率は、人口減少による下水道使用料の微減や地方債償還金の微増により基準である100%を下回っています。

企業債残高対事業規模比率は、平均値を下回っており、地方債残高も減少傾向にあります。

経費回収率は、人口減少による下水道使用料の微減により基準である100%を下回っています。

汚水処理原価は、平均値を下回っていますが、今後も有収水量の確保に努めます。

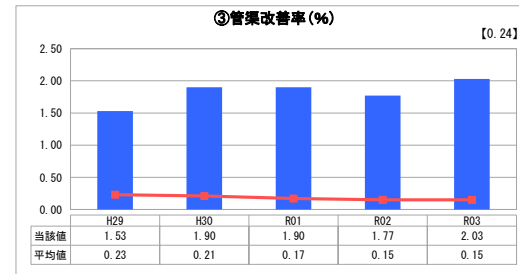
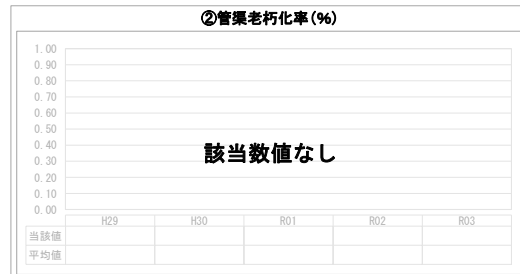
水洗化率は、平均値を上回っていますが、引き続き啓発活動を行い下水道使用料・有収水量の確保に努めます。

平成28年度に料金改定を実施しましたが、今後も適正な使用料の設定や水洗化促進により収入状況を安定させ、収益的収支比率・経費回収率の改善に努めます。

2. 老朽化の状況について

昭和59年より河合町流域関連公共下水道事業として一部供用を開始しました。その中で、特に西大和地区においては、敷設経過年数が40年以上経過し、老朽化が進行している状況にあります。従来より、巡視・点検を定期的に行い、管渠等の詰まりや破損等の不具合が発生しているが、常時、流下機能を確保すべく、平成24年度より管路更新工事を順次実施しています。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後は、下水道ストックマネジメント計画に基づき老朽化が進む下水道施設の維持管理や、大規模な地震に備えるべく減災耐震補強整備を実施致します。計画に基づく整備費の増加が見込まれますので、社会情勢の動向や国の制度改革などを見極め、下水道事業財源の確保・広報等PRによる水洗化率の向上・使用料の適正化を検討しつつ、これまで行っている事務の合理化・効率化による歳入の削減に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。